

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられる方へ

上部消化管内視鏡検査の説明と同意書

1. 検査目的

上部消化管内視鏡（胃カメラ）を用い、食道・胃・十二指腸の病気の有無を診断し、適切な治療方針を立てることが目的です。当院では基本的には鼻から内視鏡を挿入しますが、ご希望により口からの検査も可能です。

2. 検査方法：

- 1) 最初に鼻とのどの麻酔を行います。
- 2) 内視鏡（直径 5.8mm）を鼻から挿入して、食道・胃・十二指腸を観察します。
- 3) 必要な場合には病変部より小さな組織を採取して（生検）、顕微鏡で観察し良性か悪性かなどを病理診断します。病理検査の結果は 1 週間～10 日後にわかります。
- 4) 検査時間は通常 10 分前後ですが、必要があれば延長することもあります。

3. 検査日時

令和____年____月____日（ ）午前____時____分

→当日午前____時____分までにご来院ください。

※当日の診療状況によっては、予約通りに検査がすすまない場合があり、待ち時間が発生することもございますが、ご了承ください。

4. 検査前日

夜 21 時以降は食事をとらないようにし、早めに就寝してください。水、お茶、スポーツ飲料は 21 時以降も飲んでいただいて構いません。ジュース、牛乳、コーヒー、紅茶、炭酸飲料はおやめください。

5. 検査当日

- 1) 昨夜に引き続き、検査が終わるまで食事はとれません。
- 2) 検査予定時間の 1 時間前（午前____時____分）までは、水、お茶、スポーツ飲料は飲んでいただいて構いません。ジュース、牛乳、コーヒー、紅茶、炭酸飲料はおやめください。

3) 常用している内服薬がある方は、事前にご相談ください。抗凝固剤（血をサラサラにする薬）、糖尿病薬、粉薬などは飲み方を変更していただく場合があります。

・いつも通り内服してください。

・内服の変更があります。（ ）

4) 検査後の食事については、1時間後にうがいをしてむせ込むことがないようでしたら普通に食事をしていただいてもかまいません。

5) 組織を採取された方は、お粥やパン、うどんなどの消化の良いものを食べてください。当日のタバコ・アルコール摂取は控えてください。

6. 注意点

1) 食事、薬などに対するアレルギーをお持ちの方は、事前にお申し出ください。

2) 日本の全国集計によりますと、上部消化管内視鏡検査による偶発症は、10万件に78件と報告されています。この中には軽微なものから入院が必要になった例まで含まれています。

主なものには、咽頭麻酔薬に対するアレルギー反応によるアナフィラキシーショックや、内視鏡による裂創・穿孔（食道・胃・十二指腸の粘膜に傷がついたり、穴が開くこと）、生検に伴う出血遷延などがあります。

万一前記の偶発症が生じた場合は、他院と連携し、外科手術を含めた最善の処置を行います。

また経鼻内視鏡に特有なものとして、鼻出血があり、5%程度みられますが、ほとんどが軽度のもので、数分で止まります。

上記の内容について十分な説明を受け、了解いたしましたので、上部消化管内視鏡検査の実施に同意致します。

令和____年____月____日

はらたクリニック 内科・消化器内科 殿

患者様氏名

保護者または代理人氏名(患者様との続柄)